

埼玉印エだより

第126号 平成25(2013)年2月25日発行

発行：埼玉県印刷工業組合 編集・製作：組合広報委員会
☎360-0031 熊谷市末広 1-63 TEL048(524)4186 FAX048(524)7680

URL <http://www.saipia.net>

E-mail saiinkou@orion.ocn.ne.jp



さきたま古墳群にある丸墓山古墳は、毎年淡紅色に染まります。家族連れや、お年寄りの憩いの場になっています。(行田市)

印刷：三共印刷株式会社（行田支部）

〔用紙提供：埼玉会〕

平成25年 新春賀詞交歓会

～川越プリンスホテル～

平成25年1月18日(金)、平成25年新春賀詞交歓会が開催され、組合員、関連業者あわせて63社80名もの参加で、大変盛り上がりしました。

「第一部」新春講演会

午後4時より、主管地である佐藤伍郎副理事長のご挨拶の後、第一部 新春講演会として、新潟県五泉市に本社を構える株式会社吉田印刷所 代表取締役 吉田和久氏を講師にお迎えし、「これからの印刷産業のめざすもの」のテーマにて講演が行われました。



佐藤伍郎副理事長挨拶



講師：株式会社吉田印刷所
吉田和久氏

吉田氏は90年以上続く老舗印刷会社の三代目として、早期から編集作業のデジタル化やCTPの導入を行って参りました。現在はネットを介した印刷受注と平行し、ソリューション提案の印刷事業も手がけております。

その中で絶えず品質へのこだわりをもって独自の事業領域を開拓して参りました。その一つが薄紙枚葉印刷です。数々の見本を受講者全員に配布下さり、薄紙のニーズがこんなにもあるものなのかと驚かされました。ハンバーガーなどの食品用、無色透明で窓に張り付けると表裏から見えるフィルムのような紙、柔らかな感触の不織布やその他、ちょっとした風でどこまでも飛んでいってしまいそうで、印刷機に積むだけでも一苦労させられそうな腰のない用紙ばかりです。しかも、そんな用紙にベタ刷りプラス裏面の両面印刷してあり、ちょっとでもオフセット印刷に携わった人ならばいかに難しいかが解かり、最初から諦める用紙ばかりです。そのような数多くの用紙が印刷用紙として存在していることも驚きで

した。

ところが、吉田氏の技術の追求は、無理と思ったことにチャレンジを繰り返し、不可能と思われた事を実現してきています。

また、特色印刷を全てプロセスインキで対応していることも驚きです。ベタ刷りの包装紙や明朝の細くて小さな文字も見当ズレがちょっとでもあれば全く違った色として再現されてしまいますし、特色であれば1色の印刷で済むところを、取えて2～4色のインキを要するプロセス印刷で困難な状況に挑んでおられるのです。

また、新たな展開として、近々にマイスタスクールを開講し吉田印刷で実運用している技術・手法を学べ、実践できる場を提供し、これまでの常識とは一線を画すビジネスモデルを広く形成していく実行計画などもお持ちです。

バイタリティ溢れるご講演は、あっという間の時間経過で、私達同業者に希望と元気を与えてくれる、大変、有意義な内容だったと思われます。

渋谷理俊副理事長より、「日常業務にもっと創造性や技術追及を持って臨まなければいけないと感じました。」と謝辞が述べられ第一部が閉会しました。



『第三部』 賀詞交換会



新 道行青年部会長 開会の言葉



司会:大谷専務理事



来賓紹介:渋谷副理事長



挨拶:埼玉県印刷工業組合 新井正敏理事長

17時30分より新 道行青年部会長の開会の言葉で賀詞交換会が開会致しました。

続いて新井理事長が、「常々“三方良し”の精神で臨んできたが、今年度は、組合員、青年部、関連業者、そして顧客を加えた“四方良し”で、当たり前のことを一つ一つチャレンジして行きたい。」と新年の様々な事業への意気込みが述べられました。



来賓:川合義明川越市長

来賓:埼玉県中小企業中央会
田島俊秀専務理事

さらに来賓の川合義明川越市長、埼玉県中小企業中央会の田島俊秀専務理事からのご挨拶の後、出席頂いた全関連業者の紹介が渋谷副理事長より行われました。この方々の支えがあって、私達が印刷に携われる有難さを毎回感じる場面であり、其々の関連業者さんに感謝申し上げます。その関連業を代表して設楽印刷機材の設楽守廣専務より“今後も末永く印刷会社の皆さんと共に歩んで参りたい”と力強いご挨拶を頂きました。

そしていよいよ、城戸紀夫常務理事より乾杯のご発声を頂き宴の開会です。

場内の緊張も一挙に緩み、至るところで皆、笑顔で杯を酌み交わし、コミュニケーションに花を咲かせています。(飲み放題にしておいて良かった…)

設楽印刷機材株式会社
設楽守廣専務“乾杯”
城戸紀夫常務理事

MITSUBISHI PAPER MILLS LIMITED

処理液・廃液 **ゼロ** のパーフェクトプロセスレス CTP

Thermal Digiplater
TDP-459

社団法人 日本印刷学会「技術賞」受賞

URL <http://www.dmc.co.jp>

三菱製紙株式会社代理店
ダイアミック株式会社

東京都千代田区丸の内3丁目2番3号 富士ビル4階
本社営業部 ☎ 03(3216)7503
東京支社 ☎ 03(3216)7514

紙資源・エネルギーの消費を抑えた環境への負荷が少ない製品です

循環型 RC100 封筒

環境への負荷が少しでも低い製品をお届けすることにより復興支援に努めてまいりたいと思います

封筒裏面にマーク・説明文印刷付

ハート株式会社 **まずはご連絡下さい**

大宮支店 〒331-0811 さいたま市北区吉野町 1-333-7
TEL.048-665-5615 FAX.048-665-5637

多彩な製品ラインナップ [こちらから http://www.heart-group.co.jp](http://www.heart-group.co.jp)

株式会社 **ムトウユニパック**

よいものだけを...

身近な暮らしの中で活躍する封筒やDMなどを中心に、販売促進支援ツールからオフィス用品まで、豊富なラインアップをご用意。
「よいものだけを...」というコンセプトのもと、常に人と人の心のふれあいの原点を見つめ続け、高品質なコミュニケーションツールをお届けしてきたムトウユニパックが、あらゆるビジネスニーズにきめ細かくお応えします。

●封筒事業 ●名刺・カード事業 ●手提袋事業 ●エコロジー商品
●SP支援事業 ●ダイレクトメールサービス事業

さいたま支店/埼玉県さいたま市大宮区堀の内町1-698-1
TEL 048-647-6100代 FAX 048-644-4414
<http://www.mutoh-u.co.jp>

＝経済的で使いやすいレンタルウエス＝

ラフト資材株式会社
代表取締役 小野義樹

E-Mail: fwhd2901@mb.infoweb.ne.jp
URL: <http://www.raft-inc.ne.jp>

本社/営業部: 〒174-0051 東京都板橋区小豆沢 4-14-35
tel:03-3965-7231 fax:03-3967-8795

美里工場: 〒367-0102 埼玉県児玉郡美里町関 280-1
tel:0495-76-1315 fax:0495-76-2742

『第三部』 賀詞交換会

宴も終盤に差し掛かると総会に続き、今回もハーモニカ部隊の登場です。「一月一日」「ふるさと」「若者たち」「バラが咲いた」を演奏。決してうまいとは言えないものの会場の皆さんの歌声を応援に、心を込めた演奏はアンコールのリクエストを頂きました。ちょっと難しいけど恥ずかしげもなく「少年時代」をたどたどしく演奏し、6月の5県印友会に向けての弾みとなりました。

開催頂いた川越支部の中村照雄顧問を始めとする川越メンバーに寄る中締めの後、市川博也常務理事の閉会の言葉で幕を閉じました。

不安材料の多い私達の業界ではありますが、このような会合で、其々の立場で頑張っている方たちに触れ合うことによって、様々な知識や経験や技術に出会い、自社活性化へのヒントを得ることができ、それが組合の大きな意義のひとつだと感じます。

是非とも組合員の皆様の積極的なご参加をお願いいたします。

役員によるハーモニカ演奏



川越支部 メンバー



川越支部 中村照雄顧問



“閉会の言葉” 市川博也常務理事



TAGAKI
ISO9001認証取得

一貫生産だからできる自信と信頼

株式会社 永井機械製作所

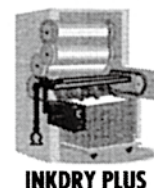
〒332-0031 埼玉県川口市青木4-3-11
TEL 048-251-0901 FAX 048-255-4674

URL <http://www.nagaikikai.co.jp> E-mail sales@nagaikikai.co.jp

TFTカラーディスプレイコンピュータ断裁機
NCW-D7シリーズ(160.137.116.102)



印刷機材の総合商社
KINSEI SHA
CO., LTD. 株式会社 錦精社



INK DRY PLUS

【機器販売】

アダストミナント印刷機械総販売元
INK DRY PLUS (IR乾燥装置)

印刷機・DTP関連機器
製版・断裁・製本機械
印刷用資材(PS版・インキ・薬品・その他)

さいたま支店

◇ JR京浜東北線北浦和駅下車 徒歩15分
◇ 〒 336-0072 さいたま市浦和区領家5-12-16
◇ TEL 048-886-8781 FAX 048-886-8855

官公需を考える

著作権問題(その2)

官公需対策委員長 岩瀬 均

先日、某地方自治体より小冊子の見積合わせが行われました。その仕様は大よそ下記の通りです。

- 主な仕様：A5、本文48P、表紙4P、
4C/4C 1500部 増刷案件
- 原稿の渡し方及び本文レイアウト：既存（見本）の本の通りとし、原稿・データ（ソフト名：Word2007、アドビイラストレーターCS2）を、USB記録媒体により提供する。
- 編集の必要性：無し（ただし、一部文字修正有り）
- 特記事項：
 1. 提供したデータ及び修正を加えたデータは、成果品と合わせ返納、納品すること。
 2. イラスト・カット・背景写真・レイアウト・文字書体等は、提供したデータを使用し、受託者が修正した部分を含め、将来の増刷に際して発注者が自由に修正等ができ、かつ自由に増刷発注できるものとして納品すること。

一見して分かるように増刷案件であり、当該自治体からイラストレーターのデータが支給されます。増刷なので一部の変更部分以外は修正がありません。印刷物の納品ばかりでなくイラストレーターのデータを納品しなければなりません。

更に、納品したデータは自治体が自由に修正でき、自由に増刷発注ができるとされています。

この場合、元となるデータが自治体で作成し自治体が業者に提供するものであれば基本的には異論がないと思います（その場合でも修正部分に関しては若干の問題がありますが）。

しかし、このデータを印刷業者が作成している場合はいかがでしょう。イラストレーターが描いたイラストもデザイナーやDTPオペレーターが工夫したデザイン・レイアウトも全て当人の自由にはならず、自治体が自由に使用できることになります。つまり、受注した印刷業者は著作権という財産権を一切放棄していることになります。業者がこれに納得している場合は問題ありませんが、通常ではそのようなことは考えられません。皆様はこのケースをどのようにお考えでしょうか？

先日、日本印刷会館で「官公需対策全国協議会」が開催され、知的財産権を専門とされる弁護士の講演がありました。彼の説明によりますと、我が国産業の国際

競争力の強化を図るため、「新たな知的財産の創造及びその効果的な活用による付加価値の創出を基軸とする活力ある経済社会を実現する」（第1条）ことを目的として「知的財産基本法」が制定されています。そしてその法律の中に、「知的財産の創造、保護及び活用に関する施策を策定し、及び実施する」ことが国や地方自治体の責務である（第5条、第6条）と規定されています。

この法律の立法趣旨に沿うように、講師の言葉を引用して印刷業界側の主張を表現しますと、

■知的財産権（著作権）をお上が由なく召し上げることなかれ。

■知的財産権（著作権）に関する民間での創造、保護、活用という循環を阻害することなかれ。

■（結論として）政府や地方自治体が企業や個人の経済活動に干渉せず、何もしないで自由にさせて！

ということになります。

翻って標記の件を眺めると、このような入札条件が果たして「知的財産基本法」の立法趣旨に沿ったものかどうか大変疑問になります。ということは、私達が素朴に感じる疑問、即ち、「発注者が一方的に印刷業者の著作権を吸い上げることができるのか」という疑問はごくごく正常なものであることと言えるのではないかと思います。

因みに、埼玉県の著作権に対する考え方は次のようなものです。

「著作権は複雑なもので、たとえ県が原稿を用意しレイアウトを概ね指示しても、編集した印刷業者には『編集著作権』が発生する。また、原版データなど印刷物作成過程の「中間生成物」の所有権は一般的に印刷業者にあると解されている」

この見解は、「知的財産基本法」の趣旨やこれまでの判例に沿うもので、私達印刷会社も納得できるものです。発注者全てがこのことを理解して入札条件を作成してもらいたいものです。

県の指摘しているように、著作権は複雑なものです。従って、この複雑な問題で皆さんが素朴に疑問を抱いた場合は当委員会にご報告願います。

委員会としましては、弁護士の先生と相談しながら当該自治体に対して私達の考えを伝えてゆき、両者が納得いくような入札条件を提示してもらえるよう努力してゆく所存です。

MUDセミナー開催

MEDIA UNIVERSALDESIGN

平成24年12月4日(火)、浦和コミュニティセンターに於いてMUDセミナーが開催されました。MUDコンペティション募集の前に、MUDの手法を学んでいただけたようにと計画したのですが、師走の忙しい時期での開催のためか、主催者の呼びかけも届かず、出席者は少なく残念でしたが、参加した学生からは積極的な質問も出、熱心に受講され、MUDについて学ぶことが出来ました。

メディア・ユニバーサル・デザイン(MUD)とは

「文字や色の使い方」「情報内容・情報伝達方法」などに配慮することで、一般の人、高齢者、障がい者、子ども、外国人など、より多くの人が見やすく使いやすいデザイン

私たちの社会には視覚メディアがあふれています。しかし、高齢者・視覚障害者等に対して「文字を読みやすくする」という配慮がなされているとは言い難いのが現状です。たとえば、文字が小さい、行間が狭い、背景と文字が同色系、色が多すぎるなどです。これはデザインを優先するあまり、何が大事か、何を伝えたいかが逆にわかりにくくなってしまっています。特に視覚情報の中には公共性の高い官公庁・病院などの災害情報や食品や薬品の安全情報など生命にかかわる重要なものがたくさんあります。そこで、印刷におけるバリアフリー化を進め、これらを最適化することがMUDの使命といえます。

それではMUDを実践する場合、気をつけねばならないこと、あるいは配慮しなければならないことにはどのようなものがあるか、以下5原則を紹介します。

メディア・ユニバーサル・デザイン5原則

①アクセシビリティ(接近容易性)

見えない・読めないなど、情報の入手を妨げる要因を取り除く工夫が必要です。例えば高齢者に対しては、明度差をつけた配色を行うと有効です。

②ユーザビリティ(使いやすさ)

より快適・便利に使える使いやすさの工夫が必要です。施設の案内図にトイレの表示をする際、その形状や付近のアクセスの情報があれば障がい者にとって便利です。

③リテラシー(読めて理解できる)

内容がより理解しやすい表現や構成による工夫が必要です。平易な言葉づかいは子どもや外国人にもわかりやすく、またカタカナ語を不用意に使わないことで高齢者にもわかりやすくなります。

④デザイン(情緒に訴える)

情緒に訴え、行動を誘発するデザインによる工夫が必要です。メディア・ユニバーサルデザインはデザイン性が高いことと矛盾しません。

⑤サステナビリティ(持続可能性を満たす品質であること)

実現するのに過大なコスト負担がなく環境へも優しいものである必要があります。将来にわたって長く使用し続けられることが大切です。

高齢者(約2,957万人)・色覚障害者(約320万人)・視覚障害者弱視(約145万人)・視覚障害者全盲(約19万人)・その他の障害者(約695万人)・子ども(約1,694万人)・外国の方(約222万人)の困っていることがそれぞれ違い、メディアがしてあげられることもそれに伴う配慮が必要となってきます。たとえば強調文字は、色などの違いだけで表示せず、文字の大きさや字体を変える・下線や囲み野を入れるなどの配慮、円グラフや折れ線グラフでは、凡例表示はできるだけ避け、グラフ内に直接表示するかポインターを利用し、線・記号の記載、色名を入れるなどの配慮、またセパレーションカラーの利用やハッチングの利用、デザインでは矢印の線を離す、線種や色を変更するなどの配慮が必要です。

いずれにしても、情報発信者は常に「この情報はどんな人にとって必要なのだろうか」「特定の人だけに機能するつくりになっていないだろうか」を確認しておく必要があります。特に「あらゆる人にとって重要な情報」「権利や安全の確保に関する情報」などは十分に配慮する必要があるといえます。

第3回埼印工MUDコンペ作品募集のお願い

今年も皆様の力を集結して、メディアユニバーサルをここ埼玉から発信していきたいとします。第3回MUDコンペティション作品の募集にご協力お願いいたします。皆様からのご応募お待ちしております。

第3回「メディア・ユニバーサルデザイン」コンペティション2013

テーマ 「わくわく埼玉」または「フリー(自由)」

※ MUD コンペに関するお問い合わせは事務局まで。

募集期間
平成25年
1/7(月)
～
3/31(日)

埼玉県印刷工業組合青年部

新年会

2月14日(木)、埼玉印組青年部新年会が深谷の地で報道3社も含め25名の参加にて開催できました。

まずは渋沢栄一記念館にて渋沢栄一の歴史について触れるとともに、約500の起業や約600の団体設立に携わった企業家精神について学びました。

その後、渋沢栄一の生家「中ん家」を見学し記念撮影を終え、工場視察に向かいました。日本煉瓦製造会社跡地に本年1月に竣工したたつみ印刷(株)では、新工場の特徴や工夫点の説明があった後、工場見学を行いました。

ツアー終了後は「新楽」にて新年会が開催され、新井理事長、櫻井副理事長にも同席いただき盛大に開催することができました。ご参加いただいたみなさん、本当にありがとうございました。



渋沢栄一銅像前で



渋沢栄一生家「中ん家」



渋沢栄一記念館



たつみ印刷(株) 新工場見学



吉岡 薫 代表取締役社長 〒356-0011 ふじみ野市福岡五六一・三 ☎〇四九(二五三)四九八五		溝口 泰男 代表取締役社長 〒330-0004 さいたま市見沼区御町一・三三三 ☎〇四八(六八五)〇七七一		武正 進介 代表取締役社長 〒367-0047 本庄市前原二・三・二五 ☎〇四九五(二四)一一七一		肥留川 徹 代表取締役社長 〒361-0075 行田市向町八・一 ☎〇四八(五六六)四四〇四		郡司 勝美 代表取締役社長 本社 〒110-0014 東京都台東区北上野一・九・一二 住友不動産上野ビル6F 北関東支店 〒366-0051 深谷市上柴町東五・二・二二		大塚 暁 代表取締役社長 〒355-0328 比企郡小川町大塚一〇八 ☎〇四九三(七二〇)〇三〇〇		浅海 廣 代表取締役社長 〒350-0856 川越市問屋町四・一 ☎〇四九(二二四)五一一一		アサナカ紙商事(株) 代表取締役社長 〒350-0856 川越市問屋町四・一 ☎〇四九(二二四)五一一一		共同紙販ホールディングス 本社 〒110-0014 東京都台東区北上野一・九・一二 住友不動産上野ビル6F 北関東支店 〒366-0051 深谷市上柴町東五・二・二二		大塚紙店 代表取締役社長 〒355-0328 比企郡小川町大塚一〇八 ☎〇四九三(七二〇)〇三〇〇		埼玉紙業(株) 代表取締役社長 〒361-0075 行田市向町八・一 ☎〇四八(五六六)四四〇四		武正(株) 代表取締役社長 〒367-0047 本庄市前原二・三・二五 ☎〇四九五(二四)一一七一		溝口洋紙(株) 代表取締役社長 〒330-0004 さいたま市見沼区御町一・三三三 ☎〇四八(六八五)〇七七一		株吉岡 代表取締役社長 〒356-0011 ふじみ野市福岡五六一・三 ☎〇四九(二五三)四九八五		埼玉洋紙会会員 * 洋紙のご需要は地元埼玉の洋紙店を*	
---	--	---	--	---	--	--	--	---	--	---	--	--	--	--	--	---	--	---	--	--	--	---	--	---	--	--	--	---------------------------------------	--

平成24年11月9日(金) 青年部東京視察研修旅行

まず初めに、新富町にある日本印刷会館にて、(株)TONEGAWAの利根川社長よりマーチングについての講義をしていただきました。イラスト百景によるまち自慢からはじまり、そのイラストを絵はがきや切手、名刺等様々なアイテムを使ってまちづくりに役立てているマーチング



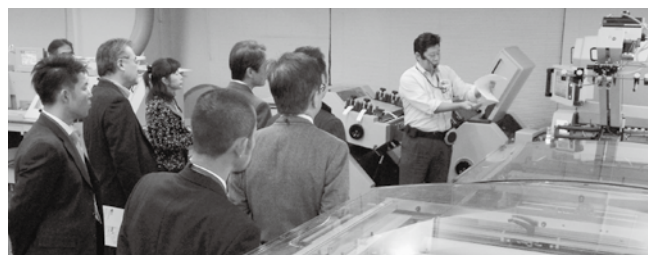
講師：(株)TONEGAWA
利根川英二氏

委員会の事例を紹介され、石田梅岩先生の「先義後利」の精神をモットーに、まちを愛し、地域を愛し、地域に根ざした情報流通の担い手としての印刷業について語っていただき、大変勉強になる講義でした。



その後場所を移動して、松尾芭蕉の「奥の細道」の出発の地、また伊能忠敬の全国測量の出発の地であり、「始まりの地」として有名な門前仲町に、(株)メディアテクノロジージャパン様が今春オープンしたショールーム「ホワイトキャンパスMON-NAKA」を視察しました。次世代に向けた最新のインクジェット輪転機・枚葉機や後工程の製本機や断裁機、またレイヤープリントやシースルーグラフィックスを可能にしたUVインクジェットプリントシステム等々、細かな説明をしていただきながら見学しました。

最後に屋形船での懇親会では、水面から眺める東京の夜景を楽しみながらの酒席に話も弾み親睦を深める事ができました。大変有意義な一日を過ごすことが出来ました。



バックカーボン・ナンバーリング印刷

カッターマシン・伝票丁合・セパレートワックス・減感加工

信頼と技術、ガッツなパートナー

株式会社 深谷カーボン

〒360-0004 埼玉県熊谷市上川上952-5

電話 048-520-1649 FAX 048-520-1410

ホームページ <http://www.ksky.ne.jp/~youichi/>



全国青年印刷人協議会・第26回全国協議会報告

(出向者・恵 勇人・新 道行)



議会在開催されました。

昨年度は企業CSRをテーマにおいて印刷産業の存在価値創造を目指してきましたが、本年度は地域やお客様に対して自社の役割を明確に伝える必要性があることから、「もうひとつの選択軸創造を目指して一わたしたちのブランド戦略」を掲げています。ブランドはファッションブランドや大企業が消費者に発信するもののようにつながりますが、CSRが重要視される現在において「ステークスホルダーに対する約束」であり「ステークスホルダーから期待される価値」であるとのこと。そして私たち印刷会社が時代の要請に応え、自社らしく社会との約束を守り、同質競争から脱し、長期にわたってお得意様と強固な信頼関係を築いていくこと、お客様から選ばれる理由づくり、それが私たちの目指すブランド構築であるとの明確な方向性が発信されました。

会議内容は、基調講演として大妻女子大学短期大学部生活総合ビジネス専攻教授である甲斐莊正晃（かいのしょうまさあき）氏より「きらりと輝く企業ブランドの創り方」としてブランドイメージの創り方やモデルケースの紹介がありました。

続いてパネルディスカッションでは、昨年全国各ブロック協議会で行われた中から代表者3名がパネラーとし

2月9日（土）、東京のホテル「アジュール竹芝」に於いて、全青協議員を中心に120名以上の参加者が集い第26回全国協

で登壇しました。1人目は(有)篠原紙工 篠原慶丞氏、紙の加工を通してものづくりの楽しさを内部で共有し発信していく経験。2人目は第一印刷(株) 西原孝太郎氏、ゆるキャラで全国1位となったバリーさんの開発から地域活性化事業までの経験。



そして3人目は我らが埼玉印組青年部副会長でもあるアサヒコミュニケーションズ社長、新井貴之氏、自ら携わってきた

ブランディング統一までの手法や考え方が披露されました。このパネルディスカッションを通して感じたことは、3人とも最初からブランドを意識して行っていた感はなく、会社をどのような方向に運営していくかであったり、自社がどうあるべきかというところから工夫してきたことが結果ブランディングであるという共通事項がありました。その後グループディスカッションが行われ、自社の強み、顧客から自社へ期待されていること、社内を統一させる規範や理念などについて全員参加にて議論が行われました。

最後に、今回の全国協議会では全国での方向性を共有する大変有意義な場であったとともに、同じ世代の青年経営者の集まりとして情報交換し、切磋琢磨していく貴重な場でもありました。今、時代と共に大きく変化していく印刷業界ではありますが、各地ですでに動いている多くの情報を埼玉内でも共有し、会員の活性につながるように祈念して、事業報告とさせていただきます。
(たつみ印刷(株) 新 道行)

噂はフォントだ!

「新発売のフォント」も「無料」で追加ご提供します。

契約を継続すると「割引プラン」もご用意します。

WindowsもOK?
OS Xは??

「Macintosh&Windows」両方に対応。最先端の環境にします!

「257全フォント」が自由に使えます。

オプションも色々。

さらに安くなるって?

何書体あるの?

「1年間単位」のシンプルな年間契約でご提供します。

価格が魅力って?

印刷対応は?

手続きは?

1年間 1台
「52,500円」のリーズナブルな価格を実現しました。

「プリンタフォント」も発売開始しました。

それって本当?



モリサワを使いこなそう。
MORISAWA PASSPORT
www.morisawa.co.jp

※使用方法につきましては、エンドユーザライセンスに基づきます。※価格は消費税込です。※2007年6月現在のフォント情報です。



新井理事長 中小企業団体中央会全国大会で受賞

昨年の10月、組合活動振興に寄与したこととして、中小企業団体全国大会において全国会長より表彰を拝受いたしました。これも偏に印刷工業組合の皆様のご支援、ご協力があればこそ受賞であります。心より感謝申し上げます。

これを良い機会とし、より一層組合活動に注力し、皆様のご期待にお応えできるよう努力してまいりますので、今後とも、ご協力ご指導を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

埼玉県印刷工業組合 理事長 新井正敏

FFGS
FUJIFILM GRAPHIC SYSTEMS



六角パワーで、
企業は丸ごと
強くなる。

「いま」こそ、「未来」のための 体質強化に取り組もう！

印刷を熟知したFFGSだからご提供できる、本当に印刷会社の力になれるソリューション、『FFGSバリューアップヘキサゴン』。ビジョンづくりからスキルづくり、仕組みづくりにいたるまで、6つのカテゴリーごとに実践的なプログラムメニューをご用意し、正六角形にバランスのとれた企業へ向けて、皆さまの「課題発見・解決」を包括的にサポートいたします。

人を育て、会社を鍛える 課題発見・解決プログラム

FFGSバリューアップヘキサゴン

〔プログラムラインアップ〕

- 印刷創世研究会*1 ■ BSM(マネージャースキルアッププログラム) ■ LDP(リーダーシップ強化プログラム) ■ 新入社員トレーニング
- BMB(ビジネスオーナー習得プログラム) ■ PSS(顧客との面談スキルアッププログラム)*2 ■ DTPエキスパート認定試験対策
- CVM(提案型営業スキルアッププログラム)*3 ■ MPP(オンデマンド印刷活用の実践型営業研修)*3 ■ i-ColorQC
- ジャパンカラー認証取得支援 ■ i-ProcessQC ■ FFGS-QC研修 ■ ISO認証取得支援 ■ 環境対応支援

*1: FFGS / 富士ゼロックス(株) *2: (株)富士ゼロックス総合教育研究所 *3: 富士ゼロックス(株)

富士フイルムグラフィックシステムズ株式会社 本社 〒101-8452 東京都千代田区神田錦町三丁目13番地 竹橋安田ビル TEL03(5259)2300 ホームページ <http://ffgs.fujifilm.co.jp>



RYOBI

話題

High Quality & High Performance

LED-UV印刷システム搭載

A列フォーマットに高いコストパフォーマンスを実現した RYOBI 920 シリーズ

リョービ株式会社 グラフィック システム本部

〒114-8518 東京都北区豊島 5-2-8 TEL 03-3927-3300 <http://www.ryobi-group.co.jp/>



A全判高速オフセット4色印刷機
RYOBI 924



豊かな新世紀を拓く

新しい時代の「企業づくり」のアドバイザー

- 印刷関連機器・材料販売
- Macintosh・Windows出力・教育・保守サービス
- ITビジネス支援事業

Human Balance
SHITARA

設楽印刷機材株式会社

本 社 〒379-2154 前橋市野中町158-1 TEL027(261)7000(代) FAX027(261)7700
宇都宮営業所 〒320-0843 宇都宮市花園町17-1 TEL028(633)8324(代) FAX028(635)8385
埼玉営業所 〒360-0012 熊谷市上之540-15 TEL048(521)9851(代) FAX048(527)0562



支部だより

▶熊谷支部

14日会 研修旅行

昨年の11月17日(土)～18日(日)、今年度の熊谷市印刷経営者共同研究グループ(14日会)の研修旅行を行いました。

今回は、東北地方へ向かい、みやぎの明治村(登米町)、中尊寺の参拝、東日本大震災の被災地南三陸や気仙沼の現状を体感する事にしました。

明治村では、明治21年に建てられた当時の学校が資料館となって残され、明治以降の教科書や授業風景などが再現されており、木造で建てられた学校のおいなど、どこか懐かしさを感じることが出来ました。また、中尊寺では国宝金色堂を見学。その後観光案内の方の説明を聞きながら境内を見学し、歴史の奥深さを感じることが出来ました。

今回の研修旅行は今までの観光旅行ではなく、昨年3月11日の東日本大震災の爪痕や、被災地の現状を自分の目と耳と肌で感じたい事を盛り込みました。



参加者全員テレビ等である程度わかっていましたが、津波で打ち上げられた第18共徳丸「全長約60メートル、総トン数330トン、総重量500～800トン」の大きな船、JR気仙沼線の曲がったままの線路、



駅舎ごと流されホームだけが残った駅、津波の直前まで放送し続け多くの方が命を落とした防災対策庁舎前の献花台で、昨年の震災で亡くなった多くの方に冥福を祈り、東北を後にしました。



最後に、テレビやラジオなどのメディアやインターネットが普及し、様々な情報を瞬時に見られるようになった今ですが、被災地の現状を自分の目で見ることで大自然の力のすさまじさを、今回の研修旅行で体感する事ができました。

訃報 心よりお悔やみを申し上げます

平成24年10月22日 (有)新英印刷(大宮支部、上尾地区)

社長 新井 義二様(81歳)

平成24年11月3日 ポプラ社印刷(株)(深谷・本庄・秩父支部、深谷)

ご尊父 田島 卯一様(97歳)



お詫びと訂正

「埼玉印工だより125号」年頭ご挨拶の新井正敏理事長の肩書きが「全日本印刷工業組合」となっておりますが正しくは「埼玉県印刷工業組合」です。深くお詫びして訂正いたします。

ハード

ソフト

材料

提案

人材

教育

明日の印刷業界を考える
MOTOYA

皆様のソリューションプロバイダー

株式会社モトヤは、身近なソリューションプロバイダーとして

これからもいつまでも 埼玉印工の皆様と歩み続けて参ります。

全国
市場.com

お得意様へのもう一歩踏み込んだサービス — インターネットショップ展開を無料でお手伝い
<http://www.zenkoku-ichiba.com/>



株式会社
モトヤ

東京 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-5-5 ☎(03)3523-8711
大阪 〒542-0081 大阪市中央区南船場 1-10-25 ☎(06)6261-1931

紙

2013

上

作

品

展



📷「対話」

井坂 功 (有)井坂印刷



📷 長崎「軍艦島」

高橋 徹 高橋印刷製本(有)



📷「46年ぶりの再会」

大谷純一 三共印刷(株)



📷「北国のサル」

深町満夫 (株)深谷カーボン



📷 ゆるキャラブーム!?

世界遺産候補 富岡製糸場「お富ちゃん」

高橋 徹 高橋印刷製本(有)

作品募集中!

皆様のすてきな作品を募集しています。

応募、お問い合わせは埼玉県印刷工業組合事務局まで。奮ってご応募ください。